

証券コード：2397

第14期 事業報告書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

株主の皆様へ



代表取締役社長
的場 亮

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

バイオテクノロジー分野は目覚しく進歩しており、常に新しい技術が開発され、それをを用いた新しい発見、研究成果などから、様々な産業分野への応用が広がっています。

特に、医療分野における影響は大きく、その結果として、年々平均寿命が伸びてきています。少子高齢化社会を迎え、予防医療を実践するためのバイオマーカー及び機器開発、社会インフラ整備が必要とされています。

DNAチップ研究所は設立以来、ライフサイエンス分野を通じて、遺伝子やゲノム研究のエキスパートとして優れた技術

開発をしながら、世の中に役立つ、研究開発、商品開発を行い、サービスを展開してまいりました。そしてさらに、最新の技術を取り入れるとともに、独自技術開発により最先端の研究開発ができる体制を整えて、日本で、世界で急速に進みつつある高齢化社会に向けて、誰もが健やかに、幸せに暮らせるためのツール開発を行ってまいります。

当期の経営成績

当期におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要等を背景に景気回復の兆しが見え始め、企業収益はゆるやかに改善しており、雇用情勢も完全失業者数が減少するなど、今後は持ち直していくことが見込まれております。また、平成24年12月に実施された衆議院解散総選挙による政権交代を境に、為替市場や株式市場では、積極的な景気対策への期待感を背景とした円安・株高の基調となり、国内経済の景気回復への期待感も増しております。

当社を取り巻くライフサイエンス分野においては、特に再生医療関連の事業化が国家戦略として取り上げられ、新たな規制や法的枠組みが整備される等、目標を達成しやすい環境になるものと期待されています。

一方、12月に山中伸弥京都大学教授が患者自身の細胞を移植して病気を治療する「再生医療」への道を開いた功績が評価され、平成24年のノーベル医学・生理学賞を受賞したことは、当社が属するライフサイエンス業界にとってだけでなく、暗いニュースが続いた多くの日本人に喜びと希望を与えてくれる出来事でした。

このような状況下において、当期の目標を「研究開発から事業化へ加速」と定め、研究受託事業の重点化とメニューの充実及び診断関連事業拡充による収益構造の改革を推進しております。

この結果、当期の売上高は、371百万円（前期比92.7%）、営業損失は

89百万円で、経常損失は89百万円、当期純損失は80百万円となりました。

研究受託

マイクロアレイを使用した受託解析サービス事業では、リポート顧客確保と食品、創業系の大型案件確保のため全社員営業活動と、提案型研究受託を推進しております。特に、次世代シーケンス解析サービスについては、平成23年11月に導入したイルミナ社製のパーソナル型次世代シーケンサシステムMiSeq（注1）を活用したシーケンス受託を推進するとともに、最も重要な48癌関連遺伝子を正確にシーケンスすることができる「Cancer Panel」の解析サービスを強力に推進しましたが、十分な成果を挙げるまでには至りませんでした。

診断事業においては、リウマチ総合診断支援サービス拡充の一環として、来年度から開始予定のリウマチ多剤効果判定のサービス開始に向けβテストを実施中です。また、診断マーカー、発現プロファイルデータなどのビジネス化を推進するとともに、新たにコンパニオン診断薬（注2）開発支援事業を展開するため、医薬品開発と一体化した診断マーカー開発への参入を推進しております。

一方、臨床研究遺伝子発現データベース・ソフトウェア製品「iCIS-crdb」については現在製薬会社への受注活動を推進中です。

その結果、当期の売上高は、342百万円（前期比108.8%）となりました。

商品販売

関節リウマチ医療分野向けソフトウェア・パッケージ製品である「iRIS」については、大学病院や製薬会社に22セットを納入しました。また、複数の医学系大学から「ハイブリ先生」の受注拡大を推進しておりますが、利益率の確保が難しい一般機器の販売は積極的に行わないこととしたため、受注は大幅に減少いたしました。

その結果、当期の売上高は、29百万円（前期比33.9%）となりました。

（注1） システムMiSeq：使い易さを追求し、最速のラン、幅広いシーケンサアプリケーションを可能にしたイルミナ社のコンパクトなデスクトップ型次世代シーケンサである。

（注2） コンパニオン診断薬：患者ごとに医薬品の有効性や安全性を投与前に判断するための診断検査法。コンパニオン診断薬を使えば特定の治療薬が効く可能性の高い患者を選別できるため、臨床面では高い治療効果が得られ、無駄な治療をしないですむ。

平成25年6月

代表取締役社長 的場 亮

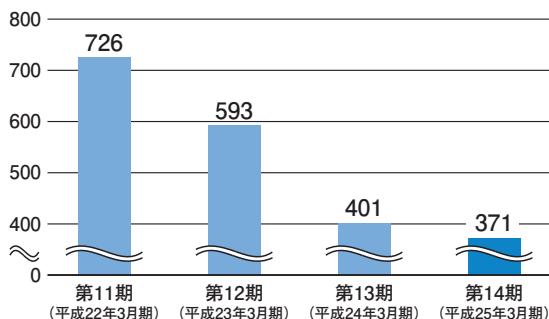
Contents

● 株主の皆様へ	1	● 事業の内容	5
● 財務諸表	3	● 会社の概況	6



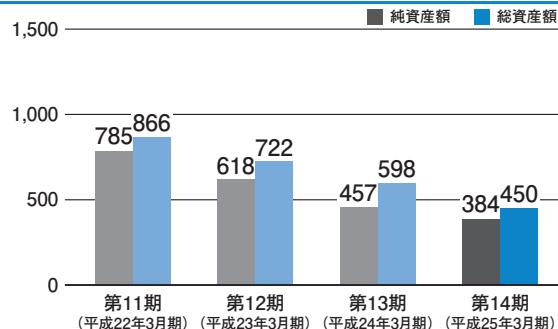
売上高

(単位：百万円)



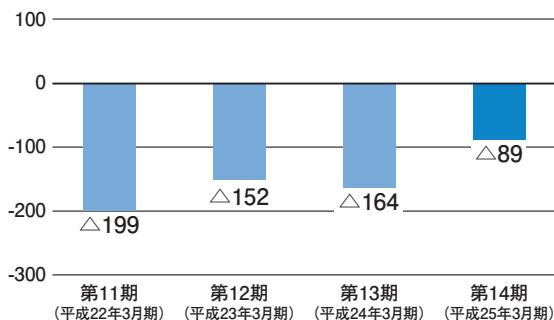
純資産額／総資産額

(単位：百万円)



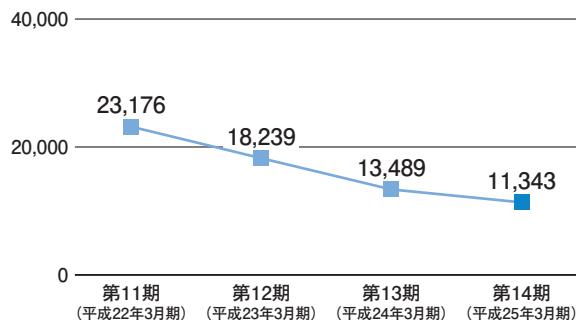
経常利益

(単位：百万円)



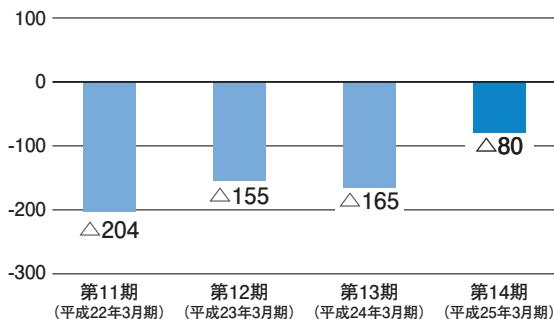
1株当たり純資産額

(単位：円)



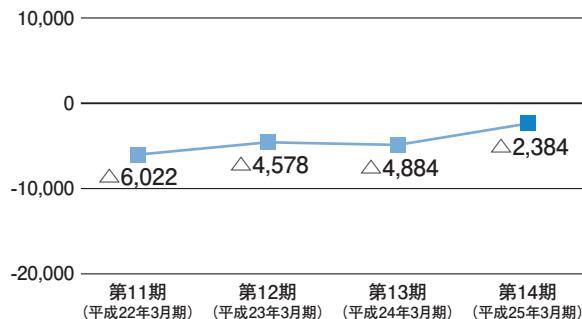
当期純利益

(単位：百万円)



1株当たり当期純利益

(単位：円)



財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科目	前事業年度 平成24年3月31日	当事業年度 平成25年3月31日	科目	前事業年度 平成24年3月31日	当事業年度 平成25年3月31日
資産の部			負債の部		
流動資産	525,474	431,341	流動負債	138,711	63,711
現金及び預金	261,001	265,692	買掛金	90,857	35,979
受取手形	18,105	24,331	未払金	18,766	793
売掛金	231,774	125,234	未払消費税等	558	3,913
商品	11,219	8,676	未払法人税等	3,194	3,298
前払費用	—	7,300	未払費用	22,214	17,311
その他	3,373	106	預り金	3,120	2,414
固定資産	72,739	18,679	固定負債	2,258	1,795
有形固定資産	31,195	17,341	退職給付引当金	2,258	1,795
建物	89	76	負債合計	140,970	65,507
工具、器具及び備品	31,105	17,264	純資産の部		
無形固定資産	582	582	株主資本	465,324	384,513
施設利用権	582	582	資本金	1,116,368	1,116,368
投資その他の資産	40,962	756	資本剰余金	1,028,918	1,028,918
投資有価証券	40,000	0	資本準備金	1,028,918	1,028,918
その他	962	756	利益剰余金	△1,679,961	△1,760,772
資産合計	598,214	450,021	その他利益剰余金	△1,679,961	△1,760,772
			繰越利益剰余金	△1,679,961	△1,760,772
			評価・換算差額等	△8,080	—
			その他有価証券評価差額金	△8,080	—
			純資産合計	457,244	384,513
			負債及び純資産合計	598,214	450,021



損益計算書

(単位：千円)

科目	前事業年度		当事業年度	
	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日		自平成24年3月31日 至平成25年3月31日	
売上高		401,096		371,866
売上原価		334,405		311,555
売上総利益		66,690		60,311
販売費及び一般管理費		231,969		150,224
営業損失(△)	△	165,278	△	89,913
営業外収益		1,267		54
受取利息及び配当金		1,267		54
その他		0		0
営業外費用		31		32
その他		31		32
経常損失(△)	△	164,042	△	89,890
特別利益		2,634		24,484
投資有価証券売却益		—		24,484
国庫補助金		2,634		—
特別損失		3,220		14,455
固定資産圧縮損		2,634		—
固定資産除却損		—		1,176
投資有価証券評価損		530		—
事務所移転費用		—		13,278
その他		55		—
税引前当期純損失(△)	△	164,629	△	79,860
法人税、住民税及び事業税		950		950
法人税等調整額		—		—
当期純損失(△)	△	165,579	△	80,810

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度		当事業年度	
	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日		自平成24年3月31日 至平成25年3月31日	
営業活動による キャッシュ・フロー		△37,829		△49,522
投資活動による キャッシュ・フロー		△3,562		54,213
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		△41,392		4,691
現金及び現金同等物の 期首残高		302,393		261,001
現金及び現金同等物の 期末残高		261,001		265,692

株主資本等変動計算書

(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	1,116,368	1,028,918	1,028,918	△1,679,961	△1,679,961	465,324	△8,080	△8,080	457,244
当期変動額									
当期純損失				△80,810	△80,810	△80,810			△80,810
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							8,080	8,080	8,080
当期変動額合計				△80,810	△80,810	△80,810	8,080	8,080	△72,730
当期末残高	1,116,368	1,028,918	1,028,918	△1,760,772	△1,760,772	384,513	—	—	384,513

事業の内容

■ 研究開発

DNAチップ研究所は、ライフサイエンス研究とバイオ産業に貢献する研究開発型ベンチャー企業です。以下を常に心がけ、研究に取り組んでいます。

1. 「創造的革新」をモットーに
2. グローバル化を意識した最高レベルの技術を磨き
3. 信頼関係に基づく共同研究と自己啓発に努め
4. 国際的情報収集、先進的情報解析能力を駆使し
5. この分野で第一の研究ベンチャーとして
6. レベルの高い研究成果を出すのに貢献する

■ 研究テーマ

→RNAチェック™

- 関節リウマチに関する研究
- 大腸癌診断用チップの開発とそれを用いたステージⅡ大腸癌の予後予測
- 悪性神経膠腫（グリオーマ）の予後予測アルゴリズムの開発
- 疲労
- 免疫年齢

→ゲノム医学

- ジェノタイピングから臨床遺伝統計解析までのゲノム医学解析
- 突発性疾患、遺伝性疾患、多因子疾患、先天異常等それぞれの疾患に適した解析アルゴリズムを用いたCNV解析

■ 受託サービス

異なるプラットフォームを用いた多面的な研究受託サービスメニューの提供をいたします。実験計画のお手伝いから、実験、統計解析、論文作成など専門のスタッフが細やかにサポートいたします。

- マイクロアレイを用いた遺伝子発現解析、miRNA発現解析、ゲノム構造解析、メチレーション解析
- Real Time PCRによる遺伝子発現解析、miRNA発現解析
- 次世代シーケンサを用いた遺伝子発現解析、メチレーション解析
- 統計解析サービス

■ 製品／診断サービス（研究用）

製品

-  ハイブリ先生 教育用DNAチップ教材
-  TBONE EX Kit：硬組織（歯牙・骨）用DNA抽出キット

診断サービス（研究用）

-  リウマチチェック 関節リウマチ生物学的製剤インフリキシマブの効果予測検査サービス
- iCIS 臨床現場で研究に必要なデータをデータベース化する臨床インフォマティクス支援ソリューション
- iRIS 臨床現場向けの簡易な症状入力と診断情報の入力可能な関節リウマチ問診システム
-  MammaPrint（マンマプリント） 乳癌の再発リスクを予測する新しい検査サービス



会社の概況

■ 会社概要

会社名 株式会社 DNAチップ研究所
 英文名 DNA Chip Research Inc.
 設立年月日 1999年4月1日
 住所 神奈川県横浜市鶴見区末広町1-1-43
 資本金 111,636万円
 従業員 20名 (内Ph.D. 7名 役員含)
 役員 代表取締役社長 的場 亮
 取締役 松原 謙一
 社外取締役 (非常勤) 田村 卓郎
 社外監査役 今井 庸介
 監査役 (非常勤) 大塚 榮子
 社外監査役 (非常勤) 吉田 春樹

加盟団体 社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム(JBIC)
 財団法人バイオインダストリー協会(JBA)
 NPO法人 バイオチップコンソーシアム (JMAC) 等

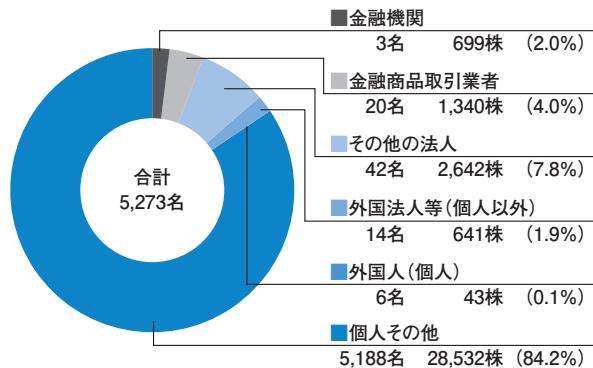
■ 株式の状況

①発行可能株式総数 100,800株
 ②発行済株式総数 33,897株
 ③株主数 5,273名

■ 大株主

株主名	持株数	持株比率
松原 謙一	1,140株	3.4%
(株) サン・クロレラ	900株	2.7%
森 淳彦	700株	2.1%
井上 伸一	635株	1.9%
枝松 七郎	634株	1.9%
日本証券金融(株)	606株	1.8%
大塚 榮子	480株	1.4%
藤尾 晋作	479株	1.4%
坪田 博子	420株	1.2%
野村証券(株)	380株	1.1%

■ 株主分布状況



■ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

剰余金の配当 3月31日（期末配当金）

受領株主確定日 9月30日（中間配当金）

定時株主総会 6月

公告掲載方法 電子公告

電子公告は当社のホームページに記載しております。

ホームページアドレス

(<http://www.dna-chip.co.jp/>)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

（郵便物送付先）三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
（連絡先）〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711（通話料無料）

・住所変更等のお申出先について

お取引口座のある証券会社にお申出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 当社ホームページのトップ画面



<http://www.dna-chip.co.jp/>